

定例自然観察会実施報告書

2023年11月20日

5班 落合 二郎

実施日 2023年11月12日(日)
テーマ 秋の丹上山系を歩く
コース 大池～鎌ヶ谷左ルート～ナダレ尾山出会い～天下辻～大池
集合 神戸電鉄大池駅から10分ほどにある空き地 9時40分
解散 同駅 14時
参加者 ビジター 52名 会員 28名(内5班17名)
(ビジターは、5班に分かれ観察)

当日は、曇り空で急な冷え込みとなり肌寒い中での植物観察会となった。

今回のコースは六甲山の北側にある丹上山系東部に属し、標高差160mの比較的穏やかな里山散策である。

1. 丹上山麓～登り口

登り口までは、小川や丘陵地に挟まれた地域住民の方の生活道路に沿って、その分配慮しながらの観察会となった。今年は秋の訪れが遅く木々の紅葉(黄葉)はまだまだである。従って晩夏から初秋に見られる植物も多く見ることができた。山の斜面には、キブシ、センボンヤリの閉鎖花と冠毛、極小ではあるがキッコウハグマの開放花、ヨシノアザミ、キツネノボタン、ミズヒキ、ガンクビソウ、見上げるとクサギの藍色の実(赤い十字の萼片)、珍しいアリマウマノズクサ、川べりには可憐なピンク色のゲンノショウコが多数咲いていた。ユスラウメに今は見ることも珍しい多くの蓑虫を発見。民家の土手に真っ赤なサネカズラの球形の実(今回はキベリハムシは見られず残念)、小川の岸にはこの時期を盛んに白いイタドリの実がノブドウの青い実とからみながら、又ミゾツバの花も多く見られた。ふと見ると澄んだ小川の中を多くのカワムツが泳ぐ姿あり。のどかである。他にマルバハギ、タカノツメの黒い実、ナワシログミの白い花など意外に見るべき花々が多いのに驚く。



集合場所



植物観察の様子



サネカズラの実

2. 登り口～丹上山縦走路出会い

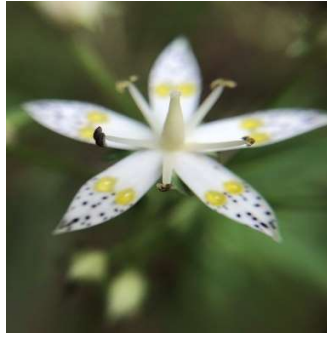
平日は調整池の工事中であるが、この日はお休みで安全に草花観察ができた。

まず目を引いたのがコバノガマズミの赤い実、試食すると甘酸っぱい。アキチョウジ、メナモミ、キツリフネ、山へ入るとすぐ左に杉、右にヤダケ群と鬱蒼とした中を進む。ウバユリの実、シュウブソウ、マツカゼソウそしてこの時期には少し遅いがアケボノソウの花に出会いその可憐な姿に見惚れる。倒木や、深い切れ込みの山道、小川に用心しながら進む。ヤブムラサキの赤い実、ヤマボウシ、リョウブ、コナラ、ケンボナシ等の落葉広葉樹の林、ヤマジノホトトギスの蒴果、シロダモの淡い黄色の花と赤い実を同時に観

察できたのはラッキーであった。ほどなく縦走路と出会い小休憩をとる。



ヤダケ群



アケボノソウ



ヤマジノホトトギス蒴果

3. 丹上山縦走路出会い～ナダレ尾山出会い～天下辻～大池駅

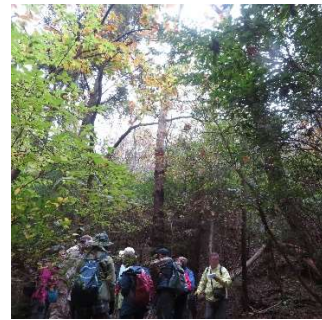
ここからは、スギやアカマツなど針葉樹とコバノミツバツツジ、リョウブ、ネジキ、タンナサワフタギ、タムシバ等落葉広葉樹が交互に現れ、見通しがきき、木々の間からは六甲山の山並みも垣間見える。道幅はこれまでより広く緩やかな下りの中のんびりとした観察ができた。ただ、モトクロスによる道の大きなエグレには一苦労であったが。ふと足元にたくさんのナシ状の実、見上げるとオオウラジロノキが聳え立つ。シダ植物のウラジロ群、コウヤボウキ、ナダレ尾山出会いを過ぎてほどなく天下辻到着。



尾根筋 ウラジロ群



コウヤボウキの花



尾根筋観察の様子

天下辻でしばし昼食休憩。こから北西側一帯は、雑木林と幾筋もの小川が流れる丘陵地が続いている。天下辻のいわれは、今のところ不明である。ただここが丹上山縦走路の辻（十字路）となっている。

天下辻からはジグザグの急坂を一気に下る。途中可憐な花センブリ、ロゼット状のショウジョウバカマ、多くのコアジサイを見ることができた。麓ではガガイモの実が数個熟れたのを観察する。帰路は元来た道を再び観察しながら神鉄大池駅へと向う。

曇り空の肌寒い天候にもかかわらず52名ものビジターの参加を得る（比較的若い女性の方もちらほらお見受けしました）。参加者の中には、「途中休みは少なくして其分観察の時間をとって・・・」等大変心強いご発言をいただいた。次回の参考にしたい。

以上